

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 主体的・意欲的な学びを創る活動の場や内容の創意工夫
- 書く・話す活動を重視した言語活動の充実

芝生小学校
「学力向上実行プラン」

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 永見 由美	委員 校長 豊田 佳男	教頭 清重 正俊
	生徒指導主任 徳永 直	研修主任 平尾 規代美
	低学年推進委員 西川良子	中学年推進委員 濱口 久弥
	高学年推進委員 辻岡 靖代	

校長

豊田 佳男

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

管理職による授業参観や研修など、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○基礎的・基本的な知識・技能が身につけたり、与えられた課題は、ほぼ全員が提出したりとまじめに学習に取り組んでいる。</p> <p>○聞き手・話し手を意識した活動ができるようになり、読解力・表現力が高まってきている。</p> <p>●長い文章を正確に読み取ったり、要点をおさえ、まとめたりする力が十分に育っていないのが課題である。</p>	<p>・学習規律を徹底させ、朝の基礎学習や自主学習等で基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができる。</p> <p>・学習の過程を通して習得した知識が、既習の知識と関連付けられ、他の学習や生活の場面でも活用することができる。</p> <p>・読書や新聞等を活用し、語彙力や表現力を高め、要点をおさえながら正しい言葉で文章を書くことができる。</p>	<p>・朝の基礎学習の内容を見直し、週一回活用する力をつける時間を確保する。</p> <p>・授業中に意見を交流したり、深め合ったり、子どもたちが対話を通して学ぶ学習を継続していく。</p> <p>・読書、音読、読み上げ計算など、楽しく反復できる言語活動に取り組み、語彙を豊かにするための環境づくりに努める。</p> <p>・振り返り、まとめに字数制限を設けるなど、条件に合わせて書く機会をつくる。</p>	<p>・朝の基礎学習では、基礎的な内容の定着に重点をおいた指導を行うが、同時に個に応じた学習ができるよう工夫する。</p> <p>・朝の基礎学習に「子ども新聞」を活用して学ぶ曜日を学年に応じて設け、語彙力・表現力を高める。</p> <p>・教科書やワークなどの振り返りのコーナーも積極的に活用し、自己の学びを振り返り、生かしていく力を育成する。</p>	<p>・学習規律の徹底は8割以上できている。朝の基礎学習や自主学習等で基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができた。</p> <p>・読書、音読、読み上げ計算など、楽しく反復できる言語活動に取り組み、力がつきつつあるが、正確に読み取る力はまだ十分ではない。</p> <p>・「子ども新聞」の活用を通して、語彙力は、高まりつつあるが、表現力を高めて文章を書くまでは至っていない。</p>	<p>・学習のシステムや場の工夫により、個に応じた学習ができるようにしていく。</p> <p>・読書、新聞等を活用し、語彙力や表現力を高め、要点をおさえながら正しい言葉で文章を書くことができるようにこれまでの取組を継続していく。</p> <p>・話し合い、伝え合い活動を増やすとともに、対話の質をあげる工夫をしていく。</p>

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○ハンドサインを使い、自分の意思を表したり、自分の考えを他の人に伝える場面が増えてきた。</p> <p>●自分の考えをもち、友達の考えと比べながら、自分の考えを見直したり、表現したりすることに課題がある。</p> <p>●自分の思いを筋道を立てて豊かに伝えることに課題がある。</p>	<p>・目的に応じて、根拠や理由を明らかにしながら、自信をもって自分の考えを書いたり伝えたりし、豊かに表現することができる。</p> <p>・他者と意見を交流しながら自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。</p> <p>・自分の考えを筋道を立てて分かりやすく伝えることができる。</p>	<p>・根拠や理由を明らかにしながら、意見を交換する場の設定を工夫する。</p> <p>・対話的な授業展開をし、考えを書いたり、比べたりする機会を増やす。</p> <p>・開かれた発問を心がけ、多様な意見が交流できるようにする。</p>	<p>・自分なりの考えをもつための時間を確保し、ペアやグループ、全体で伝え合う場を多く設定する。</p> <p>・朝や帰りの会など、学級の時間を活用し、テーマを決めたスピーチや質問・感想を交流するなど、表現力を高める場を多くつくる。</p>	<p>・自分なりの考えをもつための時間を確保したことで、ペアやグループ学習では、自分の考えを伝えることができている。</p> <p>・友達の発表から学ぶことができつつある。</p> <p>・対話する場をしっかりと設定することで、全体でも自分の考えを伝えたり、他者の意見を取り入れたりすることができ始めている。</p>	<p>・発言したり、表現したりする場を増やし、自分の考えを筋道を立てて分かりやすく伝えられるようにしていく。</p> <p>・一人で考える、友達と考える場を工夫することによって、まとめて全体の場で考えを表現できるようにしていく。</p> <p>・発問の仕方などの研究を深め、議論が深まるような工夫をしていく。</p>

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○振り返りの時間の確保により、自分の学びに気付くことができている。</p> <p>○家庭学習のルールを守り、自主学習に進んで取り組むことができている。</p> <p>●深めたい学習を選択したり、友達のやり方・考え方を取り入れたりと、学習計画を立てて取り組むことに課題がある。</p>	<p>・自分の学習の状況をしっかり振り返り、自分の課題を解決するために積極的に取り組むことができる。</p> <p>・ICTを活用したり、友達と交流したりすることで学ぶ楽しさや喜びを感じることができる。</p> <p>・自分が深めたい学習に取り組む、他者の意見を取り入れたり、新たな学びを創ったりして自分の思いや考えを深めることができる。</p>	<p>・学んだことをこれからどのように生かしていくのか振り返りを交流する時間を確保する。</p> <p>・機会をとらえ、ICTを活用し、最適な学びを確保するとともに、成長や頑張りの様子を継続的に評価する。</p> <p>・視野を広げるため、資料などを提示したり、自主学習コーナーを参考にさせたりし、自己の課題に応じて取り組めるようにする。</p>	<p>・学年に応じて、タブレット等も積極的に活用し、自分の考えを練り上げたり、グループでまとめたりするなど、より深い学びに取り組むことで、学びに対する満足感や追求への意欲を高める。</p> <p>・児童の振り返りや成長、頑張りの記録をもとに、粘り強い取組をしようとしている側面や学習を調整しようとする側面、2つの側面をしっかり評価する。</p>	<p>・振り返りの時間を確保することで自らの学びを見つめ、課題に向けて取り組めるようになってきている。</p> <p>・ICTを活用したり、振り返りを交流したりすることで、意欲的に取り組む場面が増え、学ぶ楽しさや喜びを感じることができた。</p> <p>・主体的な取組の積極的な評価や課題の工夫により、自ら学びを深める力が育ちつつある。</p>	<p>・毎時間の振り返り時間を確保する。</p> <p>・ICTを活用したり、友達と交流したりする場を多く設定することで学ぶ楽しさや喜びをもっと味わわせる。</p> <p>・疑問点や調べたいことが次々に出てくるように課題を設定する。</p> <p>・児童自らが問題を発見し、解決に向かうことができるように、課題設定や授業展開の工夫を図る。</p>

令和3年度 学力向上ロードマップ

